

中学生学力アップ教室・南部地区

北本市・ナイトスクール

活動内容	●市内全ての中学3年生の希望者を対象とし、北本市文化センター及び東部公民館を会場に6月から1月にかけて土曜日に実施した。 ●学習時間は2時間程度で、英語、数学の基礎的・基本的な内容を中心として学習支援を行った。
実施にあたっての工夫	●申込時に市教育委員会から保護者へ直接説明する機会を設け、学習内容や安全面に関する確認等を行った。 ●生徒が参加しやすい環境を整え、安全に通えるようにするため、開催場所を市内東西の2か所設定し、開始時刻を15時からとした。 ●基礎・基本の定着を図るため、県作成の「学力向上ワークシート」や入試対策の問題集を活用した。 ●個に応じた支援充実のため学習支援員を複数配置した。 ●コーディネーター及び学習支援員が毎回打合せを実施し、学習内容の確認や参加生徒の学習状況等について情報共有を行った。 ●定期考査前の時期については、個別の質問等を受け付ける時間などを設け、生徒の学習支援を行った。
事業を実施しての成果	●コーディネーター及び学習支援員が密に連携を図ることで、参加生徒に対して個に応じたきめ細かな学習支援を行うことができた。 ●参加生徒の意識調査から「学習内容」について「とても理解することができた」(78%)「理解することができた」(22%)との回答結果があった。また、「参加してよかった」と回答した生徒が100%の満足度であった。参加してよかった理由としては、「学校で聞けなかった分野も気軽に質問できたので良かった」や「自分の苦手なところ、理解していなかったことが分かって、内容を理解できるようになった。」「先生方がとても接しやすかった」等があった。 ●参加生徒の感想としては以下のようなものがあった。 ・苦手な英語を基本から復習出来てよかった。 ・特に数学の力がより伸びたように感じます。

北本市基本情報

中学校数	4校	実施教室数	2教室
対象学校	4校	対象学年	3学年
開催日数 (1教室平均)	15日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	12人
活動場所	北本市文化センター 北本市東部公民館	コーディネーター数	2人
ボランティア数	11人	ボランティアの属性	教員OB 地域住民



〔 教室全体の様子 〕



〔 個別指導の様子 〕

中学生学力アップ教室・西部地区

毛呂山町・中学生学力アップ教室(夢はぐくみ塾)

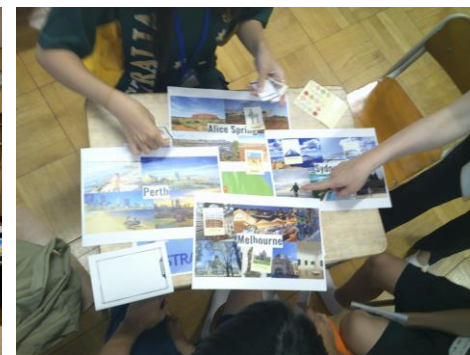
活動内容	●町内中学1～2年生を対象に部活のない木曜日、年間15日間と夏休み期間中に5日間の学習支援を実施。 ●実施場所は町内2中学校で学校ごとに設置し、学力向上支援員や地元大学生の協力を得て実施した。 ●学習する内容は、動画学習教材やテキストを活用して自主学習につながる勉強の仕方を教えた。
実施にあたっての工夫	●開催場所は各校に設置することで生徒が通いやすい環境を実現した。 ●保護者あてに案内LINEを送信して、オンライン申請により申し込みを行うことで事務の効率化を図った。 ●英語については、参加者が楽しく英語を使ってコミュニケーションできるようなプログラムを大学生に考案してもらい、大学生がフォローしながらも英語での旅行計画の作成や発表など英語で話す充実した授業が実施できた。 ●YouTubeの学習動画を活用することで、学力アップ教室だけではなく、自宅においても自分で学習が進められるよう工夫した。また、学力アップ教室では主に数学の学習であるが、他の教科の動画も紹介することで、家庭学習の充実を図ることができた。
事業を実施しての成果	●参加生徒のアンケートから、「とても役に立った」、「どちらかという役に立った」という前向きな回答が90%以上と高い水準となった。 ●学力向上支援員や大学生を配置したことで、生徒から自分がわからないところが、聞きやすく、できないところができるようになったという意見があった。 ●学力アップ教室に参加した生徒の感想として、「自分のペースで学習できた」「他の教科も勉強するきっかけとなった」「勉強に集中できた」「勉強法がわかった」など参加したことで、学力向上につながるきっかけとなっている。 ●家庭学習の促進を図るため勉強のやり方を教えることに重点を置いて実施した。家庭学習ができるようになったとの生徒の声があった。

毛呂山町基本情報

中学校数	2校	実施教室数	2教室
対象学校	2校	対象学年	1～2学年
開催日数 (1教室平均)	20日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	20人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	2人
ボランティア数	20人	ボランティアの属性	大学生



〔学習動画を活用した学習〕



〔体験型英語学習〕

熊谷市・くまなびスクール

活動内容	●市内全ての中学生に参加を呼びかけ、参加を希望した生徒を対象に、5月～翌2月で週1回程度（1回2時間）学習支援を実施している。 ●実施場所は市内の中学校（16校）を会場に年間30回以内で実施した。 ●教員OBや教員免許状所有者、学生等の有償ボランティアによる、生徒一人一人に対するきめ細かな指導を通して、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図った。 ●学習形態は国語、数学、英語を中心とした自学自習形式で行った。
実施にあたっての工夫	●会場を各中学校に設置することで生徒が通いやすい環境を実現した。また、実施日については各中学校が設定することにより、学校の実情に応じた運営ができた。 ●教員OBや教職志望の学生等に対して、広く募集をかけることで、人材育成につながった。 ●学習支援員との連絡調整を密に図り、一人一人の状況や成果、課題を共有した。 ●市内の全生徒に配付してある「熊谷市学力向上テキスト」（熊谷市教育委員会作成）を教材として活用した。
事業を実施しての成果	●参加する生徒は、学習に不安のある生徒や経済的な理由で塾に通えない生徒等に限定をかけずに、市内全ての中学生に参加を呼びかけた。その結果、学習の機会を保障し、個に応じたきめ細かな指導を行うことができた。 ●学習支援員と連絡調整を密にとることにより、生徒一人一人のさらなる実態把握に繋がった。 ●R6くまなびスクール生徒質問紙（開始・終了時調査）より ・生徒の学習に対する意識の変容 - Q 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。 【していると答えた生徒】 （開始）66.7% → （終了）87.5% 20.8%増加 ・参加生徒の感想 今年は受験生だったので、いつもより集中して取り組むことができました。3年間くまなびをやって、勉強する時間が少しでも増えたのでとても良かったです。

熊谷市基本情報

中学校数	16校	実施教室数	16教室
対象学校	16校	対象学年	1～3学年
開催日数 （1教室平均）	23日	参加人数 （1教室あたりの1日平均）	14人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	16人
ボランティア数	44人	ボランティアの属性	教員OB、教員免許状所有者、大学生



〔くまなびスクールの様子〕



〔新熊谷プロジェクト学力向上テキスト〕

中学生学力アップ教室・北部地区

秩父市 チチブ・アフターナイトスクール～夜勉～	
活動内容	●市内中学1～3年生を対象に10月～12月で全6回実施した。今年度も英語の学力向上に向けて、学習支援を行った。 ●英検の級を基準に習熟度に応じて2つの教室に分けて実施した。 ●学習内容は、コーディネーターが作成したプリントの問題や市販のテキストを使用し、授業形式で実施した。1回の講座時間は1時間30分（18時30分～20時）とした。
実施にあたっての工夫	●事前に参加者の保護者の電話番号及びメールアドレスを登録していただくことで、確実に必要事項を伝えられるよう連絡体制の整備を行った。 ●コーディネーターとの連絡調整を密に図り、各回の講座の成果や、課題を共有した。 ●地域の人材を学習支援サポーターとして募集し、生徒の学習支援に協力していただいた。 ●初回と最終回において同項目の内容の小テストを実施することで、英語力の伸びについて、参加者が点数及び問題を解いている際の実感として感じられるようにした。 ●6回の講座終了後、希望者には同施設を準会場に英語検定を実施した。学習の成果を実感できるよう、講座と検定を一連の事業として実施した。
事業を実施しての成果	●学習支援員の配置をとおして、一人一人にきめ細やかな支援ができた。 ●参加生徒のアンケート調査から、「講座はわかりやすかった」「この活動を通して、これからの英語学習にやる気や目標を持つことができた」との回答が共に約90%以上と高い水準となった。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがある。 「講座を受講して、学校の英語の授業にも興味をもてるようになった。」「サポーターや先生に気軽に質問ができたので疑問点を解決することができた。」「家で一人で勉強するよりも、やる気をもって勉強をすることができた。」

秩父市基本情報			
中学校数	8校	実施教室数	2教室
対象学校	8校	対象学年	1～3学年
開催日数 (1教室平均)	6日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	17人
活動場所	公共施設	コーディネーター数	2人
ボランティア数	16人	ボランティアの属性	教職員OB 高校生 一般市民



〔5級教室〕



〔4級教室〕

深谷市・ステップアップレッスン

活動内容	●学習に対して不安を持っている生徒や、更に自分の力を伸ばしていきたいと思っている生徒を対象に、国語・数学・英語を中心に補習学習を実施した。特に、基礎的・基本的な学習内容の定着に重点を置き、プリント学習を中心としながら実施した。 ●週に2回の実施を基本として、学校の実態に応じながら、曜日や実施学年を工夫して取り組んだ。
実施にあたっての工夫	●実施計画は中学校学習支援員が中心となって決めている。また、夏休み、冬休み等の長期休業中には、実施日を集中させたり、午前と午後の2回開催にしたりして、生徒の参加を促した。 ●一人一人の課題に応じた個別指導を中心に学習支援に努めた。間違えたところや分からないところを解決・理解することができるように、一人一人の理解の実態にあわせて学習を進めた。また、3年生の受講者に対しては、高校入試も見据えて、入試までの残り期間に応じて学習内容を工夫して実施した。 ●各学年の授業の進度に合わせ学習内容を工夫し、授業の復習や次時の授業に生かせるようにした。 ●学習プリントを事前に用意し、その問題を解き、解答をもとに自己採点させ、誤り等を確認し、指導者に質問したり、相互に教え合いをしたりして、理解を深めることができるようにした。 ●3年生は、高校入試を見据えて、冊子にした問題集や各自が用意した教材・課題をもとに自主的に学習に取り組むこともあった。2学期後半からは、指導者も公立高校入試に向けて学習プリントの準備をして、学習を進めた。
事業を実施しての成果	●ステップアップレッスンを通じて、一人一人の基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上が成果として現れた。 ●参加している生徒は、学習に対して積極的に取り組めた。 ●令和6年度の事業のまとめにおける生徒アンケートでは、ステップアップレッスンに参加したことについて、「とても良かった」「良かった」と答えた生徒の割合は、93.9%と、充実感を得ている。

深谷市基本情報

中学校数	10校	実施教室数	10教室
対象学校	10校	対象学年	1～3学年
開催日数 (1教室平均)	90日	参加人数 (1日平均)	15人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	10人
ボランティア数	10人	ボランティアの属性	教員OB 教員免許取得者 大学生



【各学年の実態に合わせた学習プリントの準備】



【中学校学習支援員と学習を進めている様子】

中学生学力アップ教室・北部地区

長瀬町・チャレンジ土曜セミナー

活動内容	●中学3年生を対象に11月から2月までの土曜日に10回、各回2時間程度学習支援を実施した。 ●実施場所は、中学校近くの中央公民館とした。 ●学習する内容は、基礎問題（数学・英語）を中心としたテキストを用いたほか、生徒の進捗にあわせ発展問題を掲載したプリントを使用して学んだ。
実施にあたっての工夫	●開催場所を中学校近くの中央公民館とすることで、生徒が自力で通室できる環境を実現した。 ●全体指導で基礎的な内容の確認を行い、指導者2名が机間指導を行うことで、個別に質問できる時間を設けた。 ●指導者は、入退室時や休憩中に生徒と簡単な英語でのコミュニケーションをとるなど、学習時間以外においても積極的に交流を図るほか、反復学習の重要性を指導し、学習への意識改善を促した。 ●基礎問題を重点的に学ぶことで、一人一人の基礎的内容の理解を深め、自力で回答を導き出す達成感を体験することにより、学習への苦手意識を軽減するきっかけづくりとなるよう努めた。 ●生徒の進捗にあわせて教材を用意し、学力およびさらなる学習意欲の向上を図った。
事業を実施しての成果	●回数が進むにつれ、生徒が挙手をし積極的に質問をする場面が増え、学習意欲の向上がみられた。 ●全体指導で自己の課題を把握し、個別指導で解決に向けた支援を行うことで、一人一人の習熟度に合わせた指導ができた。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがある。 「英語の文法の基礎、構成要素も含めての基礎からあらためて学ぶことができて理解が深まった」「自分で考えて解けるようになった」「わかりやすく教えてもらう中で、1つ1つ分かっていくことが楽しくなった」 ●学力アップ教室参加後の校内テストでは、数学は生徒の80%、英語は参加生徒の50%が受講前に比べ成績が上昇した。

長瀬町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	3学年
開催日数 (1教室平均)	10日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	9人
活動場所	中央公民館	コーディネーター数	1人
ボランティア数	2人	ボランティアの属性	外部講師



〔学習の様子〕



〔個別指導の様子〕

中学生学力アップ教室・北部地区

小鹿野町・中学生未来塾

活動内容	● 中学1年生から3年生を対象とし、年間13回土曜日の午前中に、民間の外部講師や教員OBにより、英語、国語、数学の学習講座を実施している。 ● 1クラスを少人数で編成して、きめ細やかな学習指導を行っている。
実施にあたっての工夫	● 英語、国語、数学の3教科とも、それぞれ学年ごとに①基礎・基本コース②応用・発展コースの2コースに分かれて実施している。参加人数の多い2学年は、3教科とも基礎・基本コースを3クラスに分けて実施している。生徒個々の学習進度に合わせて、少人数できめ細やかな指導を行っている。(習熟度別指導) ● 教員OBの他に地元の講師にも協力を頂き、地域の教育力を活用した地域と一体となった教育活動の支援を行っている。 ● 地元小鹿野高校との連携を図り、数学への興味・関心を高めるとともに地元高校への理解を深めるために、高校数学科の教師による数学特別講座を年2回実施している。 ● 遠距離の生徒も参加できるよう、開催日にはスクールバスを運行し送迎している。
事業を実施しての成果	● 中学生未来塾への参加者は101名であり、昨年度の参加者71名から大幅な増加が見られた。 ● 参加者101名のうち、英検に24名、漢検に37名が挑戦した。今年度の検定受験率は60.4%であり、昨年度比12.6%の増加が見られた。(昨年度受験率47.8%) ● 参加生徒のアンケート調査では、「参加してよかった89%」「学習内容がわかりやすかった92%」「楽しく学べた91%」であり、概ね良い結果が得られた。 ● 本事業に参加して役立った点として、「学校の授業がわかるようになった」「定期テストで成長を実感できた」「苦手教科が克服できた」等が挙げられた。 ● 保護者の感想として、以下のようなものがある。「金銭的負担がなく近いので安心して通えた」「勉強に役立った」

小鹿野町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	7教室
対象学校	1校	対象学年	1～3学年
開催日数 (1教室平均)	13日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	9人
活動場所	小鹿野文化センター	コーディネーター数	1人
ボランティア数	11人	ボランティアの属性	塾講師 教員OB



〔3学年数学特別講座〕



〔1学年英語の授業〕

中学生学力アップ教室・北部地区

神川町・中学生学力アップ教室

活動内容	●町内中学3年生を対象に9月～2月で水・金曜日の週2回の学習支援を実施している。 ●場所は町内公共施設（就業改善センター）で実施した。 ●学習する内容は、生徒が自ら持参し、自習形式で実施。生徒の進捗状況を確認しつつ、指導者による個別指導を実施した。学校の授業で使用しているワークや自費で購入した問題集等に取り組んでいる。
実施にあたっての工夫	●開催場所を町の中心にある公共施設に設置することで生徒が通いやすいように配慮した。 ●事前に参加者の保護者が連絡アプリ（マチコミメール）に登録し、緊急時の連絡体制の整備を行った。 ●指導者との連絡調整を密に図り、一人一人の状況や成果、課題を共有した。また、近隣の大学とも連携し、教員志望の大学生を学習支援員として活用した。 ●受験を控えた3学期より、指導者の専門性を生かした教科ごとの講義指導も実施した。 ●不登校の生徒も安心して教室に参加できるよう、学習の様子や指導者の顔写真を入れた案内チラシを個別に家庭配付した。 ●指導者と連携できるよう、教育委員会の指導主事も教室の様子を週に1回以上は訪問し、指導者と教室運営について協議した。 ●コーディネーターが中学校の生徒指導委員会に参加し、生徒の取組の様子について報告した。
事業を実施しての成果	●参加実施アンケート調査についても肯定的な回答が多くあり、生徒や保護者の満足度は高いと考える。 「参加してよかったですか？」 100%（肯定的評価の割合） 「学習内容の理解を深めることができましたか？」 93%（肯定的評価の割合） ●「先生に質問して、理解できる問題が増えてよかった」「授業形式で教えてもらったことがよかった」などの感想があり、参加生徒にとって満足度は高い。 ●参加生徒の保護者からは、指導者が丁寧でわかりやすい指導をしていただいたことへの感謝の言葉をいただいた。

神川町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	3学年
開催日数 (1教室平均)	40日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	25人
活動場所	町施設（就業改善センター）	コーディネーター数	1人
ボランティア数	4人	ボランティアの属性	教員OB 教員志望大学生 元学習塾講師



〔学習に取り組む生徒の様子〕



〔熱意のある講義の様子〕

中学生学力アップ教室・北部地区

上里町・学力アップ教室

活動内容	● 町内の中学校3年生を対象。7月から2月にかけて、週2～3回、放課後の2時間程度、上里町立図書館で学習支援を実施。 ● 5教科を中心に、生徒が学習する内容を自身で決定し、教材を持参する。学校の宿題や学習に関する予習や復習を行い、分からないところについては、学習支援員に質問をする。
実施にあたっての工夫	● 町の中央に位置する上里町立図書館にて実施することで、生徒が参加しやすい環境を整えた。 ● 参加する生徒の保護者に対して、保護者説明会を実施。緊急時の連絡方法や実施に当たっての注意事項を丁寧に説明を行った。また、学力アップ専用の携帯電話を購入し、保護者からの連絡を統一するようにした。 ● 教室を開催する前に必ず、学習支援員打合せを実施し、生徒の様子や指導方法の確認等を行った。 ● 「自ら学習に取り組める力を育てること」をベースとし、各自で取り組み、分からないところを自分から聞ける態度を養うようにし、学習の仕方を学ばせ、「これが分かった」と実感できるような支援を行った。 ● 各自が勉強したい教科を持参させて、個に対応した支援を行った。 ● 4人で1グループを作り、生徒同士でも教え合う環境をつくり、学習への一体感を高めることができた。 ● 学習するにあたり、机の準備や片付けに参加生徒が積極的に動き、自主性も高めた。 ● 学力アップコーディネーターを中心にボランティアの支援員の日程調整や開催日の管理を行うことで、安定して支援員を配置することができ、定期的に学力アップ教室を開催することができた。
事業を実施しての成果	● 図書館で実施することで、学力アップ教室以外でも図書館を利用し学習する生徒が増加した。 ● 「上里町中学生学力アップ教室」10年目となり、生徒・保護者の事業への認知度と有効性の認識が高まった。また、教員も協力的になり、様子を見に来て、ボランティアで支援してくれる回数が多くなった。 ● 分からないところを互いに聴き合い、主体的に学習を進める力がついた。 ● 保護者アンケートから、学力アップ教室に参加した生徒の約9割が学習への意欲が高まったと答えている。

上里町基本情報

中学校数	2校	実施教室数	1教室
対象学校	2校	対象学年	3学年
開催日数 (1教室平均)	58日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	36人
活動場所	上里町立図書館	コーディネーター数	1人
ボランティア数	18人	ボランティアの属性	教員OB 大学生



【大学生による支援】



【学習資料を活用して学習に励む様子】

中学生学力アップ教室・北部地区

寄居町・「より・E土曜塾」

活動内容	● 中学生の学力を向上させ、希望する進路を実現させたいという強い思いから開設している寄居町独自の取組である。 ● 年間40回の講座を実施している。 ● 内容は、定期テスト対策講座、進路対策講座、英検対策講座、独自の実力テストと充実している。 ● 参加者は無料で受講できる。 ● 第2回英検へ向けての対策講座は中学3年生を対象に、第3回英検へ向けての対策講座は中学1, 2年生を対象にしている。
実施にあたっての工夫	● 令和4年度より、全ての生徒が参加しやすいよう、集合型の授業に加え、家庭でも受講できるオンライン型の授業と、都合のよい時間に視聴できるオンデマンド型の授業を組み合わせたハイブリッド形式で展開している。 ● 感染症罹患等により自宅療養中の生徒がオンライン授業で参加したり、部活動や家庭の都合等で参加できなかった生徒がオンデマンド配信を視聴したりと、参加生徒の状況に応じた柔軟な対応をしている。 ● 長期休業中にタブレットを持ち帰らせ、オンデマンド授業を視聴しレポートを書かせている学校もあり、家庭学習の充実にも寄与している。 ● 参加生徒の募集や、実力テストの後日受験など、町教委と学校とで連携して取り組んでいる。
事業を実施しての成果	● 参加した生徒からは「質問するとわかるまで教えてくれたので、成績が上がった。」「楽しいし、よく分かるから続けたい。」「土曜塾のおかげで、志望校の〇〇高校に無事に合格出来た。」、保護者からは「受講生無料の学習支援に、本当に感謝している。」「埼玉県の高校入試についての情報がよくわかり、助かった。」等の声が寄せられた。 ● 令和4年度、5年度とも、受講した生徒の100%が、希望する進路を実現することができた。

寄居町 基本情報

中学校数	3校	実施教室数	1教室
対象学校	3校	対象学年	1～3学年
開催日数 (1教室平均)	40日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	40人
活動場所	寄居町役場 会議室	コーディネーター数	1人
ボランティア数	16人	ボランティアの属性	外部講師



〔対面型授業の様子〕



〔英検対策講座の様子〕

中学生学力アップ教室・東部地区

加須市・「加須まなびTime」

活動内容	●市内公立中学校に通う中学1～3年生を対象に5月～3月の期間に週1回学習支援を実施している。 ●市内の公共施設5カ所で実施している。 ●学習内容は、各生徒の課題に合わせて学習を進めている。 ●学習時間は1回あたり2時間であり、中学校の授業時間に合わせ、50分を2コマ（途中休憩あり）としている。
実施にあたっての工夫	●開催場所は各地域に設置することで生徒が参加しやすいよう配慮している。 ●年度当初に各会場にて開講式を行い、約束事や注意事項などを参加者へ指導している。 ●各会場ごとにLINEオープンチャットを作成し、欠席や緊急時の連絡について共有できるようにしている。 ●担当指導主事が各会場のコーディネーターと年3回の推進会議を行い、会場運営にあたっての共通理解を図っている。また、日頃から連絡調整を密に図り、会場に運営についての情報共有等を行っている。 ●各会場の大学生サポーターが細やかに生徒の状況に応じた指導を行える体制となっている。
事業を実施しての成果	●参加者アンケートからは、「自分から勉強する時間をつくるのが苦手なので、参加しました。分からないところがあると、先生がすぐ教えてくれるので、すごく助かりました。」「親にすすめられて参加しました。先生が丁寧に教えてくださり、分かりやすかったです。」との感想が寄せられている。 ●大学生サポーターは、教職に関心をもつ人材も多く、「加須まなびTime」の経験を生かして教職を志すサポーターもいる。

加須市基本情報

中学校数	8校	実施教室数	5教室
対象学校	8校	対象学年	1～3学年
開催日数 (1教室平均)	37日	参加人数 (1教室あたりの1日平均)	26人
活動場所	市内コミュニティセンター (5ヶ所)	コーディネーター数	5人
ボランティア数	17人	ボランティアの属性	大学生



花崎会場の様子



三俣会場の様子

中学生の学力アップ教室・東部地区

久喜市・「くき本樹塾」

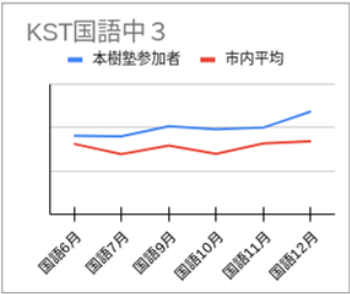
活動内容	●市内の全中学校を対象とし、5月中旬から2月にかけて、週1回、2時間程度を目安に、各中学校の教室で国語・社会・数学・理科・英語の問題集やコーディネーターの自作ワークシート、タブレット端末を活用し、個別の学習支援を実施した。 ●自主学習を主な活動にしているが、生徒の様子によって、コーディネーターの判断で一斉指導等も適宜実施した。
実施にあたっての工夫	●各学校に専属のコーディネーターと指導員を配置したことで、支援員と生徒、学校と支援員、支援員同士の信頼関係が構築された。これにより支援員が生徒一人一人の実態に合った学習支援を行えるとともに、学校と情報共有が積極的に図られ、中間・期末テストの範囲を把握した上で効果的な支援に当たることができた。 ●実施する曜日や時間を学校ごとに固定しているため、定期的な開催となり、生徒の学習習慣の定着が図られた。 ●多くの学校では、教員に連携・協力いただき、学習支援員をサポートする取組を実施した。この取組を通じて、生徒への支援が充実するとともに、教員にとっては本樹塾の活動状況や生徒の様子を把握することができ、日頃の授業での指導等につなげることができた。
事業を実施しての成果	●参加生徒の意識調査から、本事業に参加し主体的に学習に取り組むことができた生徒の割合が約97%（12月現在）と高い水準であった。 ●埼玉県学力・学習状況調査と同様の性質をもつ、久喜市の学力調査「久喜市ステップアップテスト（KST）」の結果において、本事業参加生徒は市内平均と比較して、中1と中2は1.5倍、中3は約1.2倍学力の伸びが大きかった。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがあった。 ・「質問することの大切さを学び、普段の授業でも積極的に質問できるようになった。」 ・「ゆっくりとした学びのペースに合わせてくれるので、とても嬉しい。」 ・「本樹塾の日が楽しくなった。」

久喜市基本情報

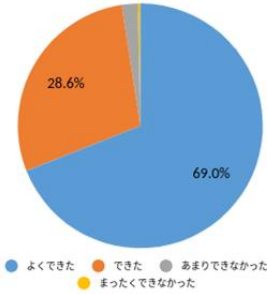
中学校数	10校	実施教室数	10教室
対象学校	10校	対象学年	1～3学年
開催日数 （1教室平均）	23日	参加人数 （1教室あたりの1日平均）	28人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	8人
ボランティア数	31人	ボランティアの属性	元教員 教員免許保有者 大学生



〔学習の様子〕
学習支援員によるきめ細やかな個別指導により、学習意欲や学力の向上につながっている。



〔学力の伸び〕
久喜市独自のテストにおいて各教科で伸びが見られ、苦手分野も改善に向かっている。



〔生徒意識調査〕
本樹塾に参加した生徒のうち、97%以上の生徒が本樹塾に積極的に取り組めたと回答している。